

進路を考える会 議事録

コース： 人文科学系 大学、学部名： 慶應義塾大学 文学部

・ **進路を決定した時期と、その大学を選んだ理由を教えてください。**

進路を決定した時期は高校2年の夏休み。

中学校の先生になりたいと思い、最初は早稲田大学の教育学部を受験しようと考えた。姉が慶應義塾大学に通っているので親しみもあり、慶應に対しての憧れもあったから慶應を志望校にした。

国語の教員になりたいと思った理由は、国語の先生との出会いが大きい。素晴らしいと思える国語の先生と出会い自分も先生のような大人になりたいと思った。

・ **どのような入試方式でしたか？また併願校はどのような基準で選びましたか？**

一般入試。

併願校はセンター利用入試。選んだ基準は国語の教員免許が取れるかどうか。またセンター利用ができるかどうかなど。全部で10校くらい受験した。

・ **本格的に、受験勉強を始めた時期はいつですか？**

高校2年の夏休みから塾に通い始める。

高3の4月からは遊ぶ時間も減らし勉強に打ち込んだ。

・ **どのような勉強方法でしたか？**

高校入学後は、推薦は意識していなかったものの、学校で行われる定期テストを大切に、毎回行われる定期テストを目標に学校の授業を中心に勉強を進めていた。履修を決める時も、3年生になって必修が残らないようカリキュラムを組むようにしていた。文系だけど数学ⅡBも履修し、難しく感じたが、定期テスト前などは努力をした。

・ **おすすめの参考書はありますか？**

学校の教科書を中心に勉強を進めていた。

英単語は【でる順パス単・旺文社】

日本史は山川出版のものを中心に使用。

・ **部活や委員会、行事との両立についてアドバイスをお願いします。**

ホールスタッフの一員として在学中は忙しかったが、とても充実した学校生活を送っていた。

塾は衛星予備校だったので、月初めに自分の都合を考慮しながら受講予定を組み、予定が決まったら、必ず受講するようにしていた。

・受験を振り返り、感想を聞かせてください。(家族にしてもらって嬉しかったこと、嫌だったこと)

家族がとても親身になってくれたことが嬉しかった。また模試の結果が思わしくない時も、自分を信じてくれ、不合格になったらどうしようかではなく、合格したらどうしようかとポジティブに考えてくれたことが支えになった。

予備校代、併願校の受験料など、お金がかかったが、惜しまずに出してくれたことに、とても感謝している。

慶應の受験に必要な小論文は、国語の先生が丁寧に添削をしてくれたのでとても有難かった。

・大学の授業内容、学校生活全般の感想を聞かせてください。

慶應義塾大学は1年時は一般教養の授業が多い。

2年生になってから専攻に分かれるため、興味のない授業も必修であれば受けなければならない。しかし、それは責任を持って受けている。

大学に入学し、新しい友達と交流するのがとても楽しい。興味ある授業を受けている時、それについてレポートを書いている時などがとても楽しい。

・現役生に伝えたいことがありましたら、ぜひお話しください。

自分が通うことになるかもしれない大学は、たとえそれが併願校であっても、オープンキャンパスに行って自分の目で見た方がいい。

<質疑応答>

・睡眠について。

なるべく日をまたがないようその日のうち(午前0時前)には、寝るように心掛けていた。たとえ勉強が途中で、そのまま起きて勉強を続けると翌日がつらくなるので眠ることを選択していた。

・オープンキャンパスではどんなところに観点を置いて見学したか。

設備などではなく、学部内でどのような内容を勉強するかを確認するために行った。

例えば、1つの授業で教授に対して生徒は何人か、この学部ではどのような免許が取れるのかなど。オープンキャンパスではそのような質問にも個別に答えてくれる大学がほとんど。

・スランプの乗り越え方

例えば、勉強しているのに模試の結果が思うように点数がとれなくても、あくまでも模試は模試と、点数そのものはあまり気にしないようにしていた。それよりも復習をキチンとするようにしていた。

成績が伸び悩んでいる時は、勉強は習得までに時間がかかるものだと、自分に言い聞かせて乗り切った。たとえ、伸びていない時期であっても、毎日コツコツと、マラソンのように努力を続けるようにしていた。

まわりで頑張ってる友達をみて、自分も頑張ろうとモチベーションをあげるようにしていた。